

常陸太田市 「原子力災害時の避難等 に関するアンケート」 集計結果(速報)

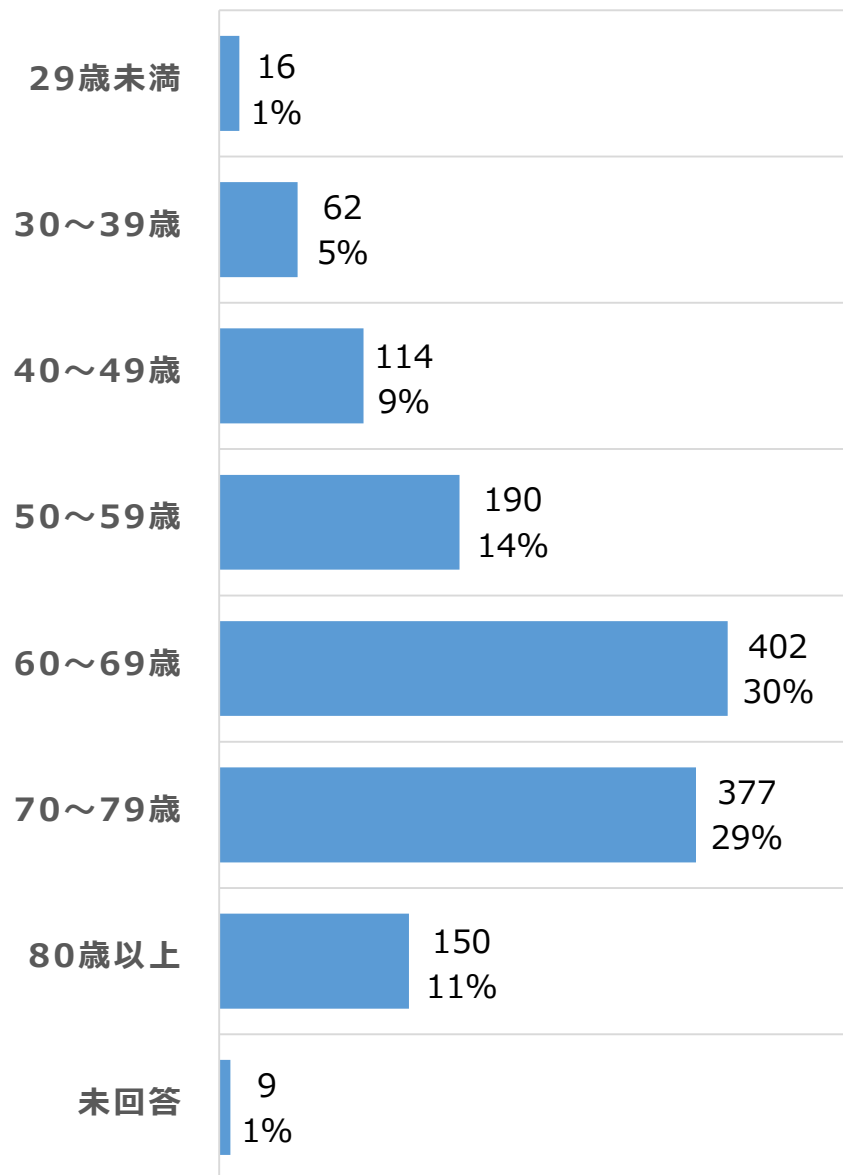
令和2年3月31日 現在

調査時期	令和元年10月7日～10月31日
調査対象	市内18歳以上の世帯主3,000人(地区ごとに無作為抽出)
回答数	1,320件
回答率	44%

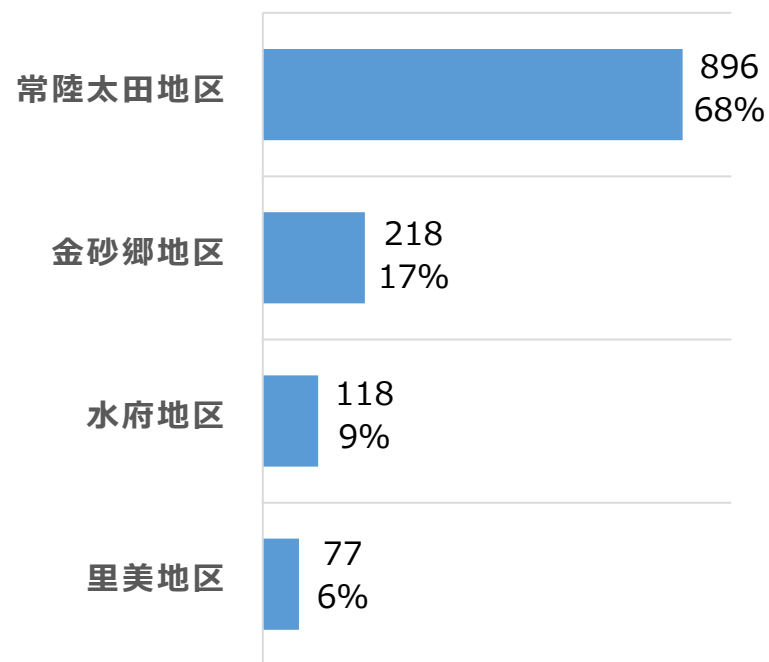
集計するにあたって基準とした世帯数・人口

令和2年2月1日現在 世帯数 19,334世帯・常住人口 48,573人

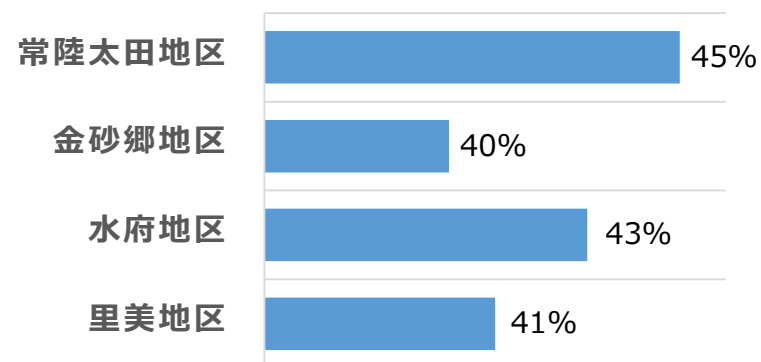
年代別



地区別の回答数

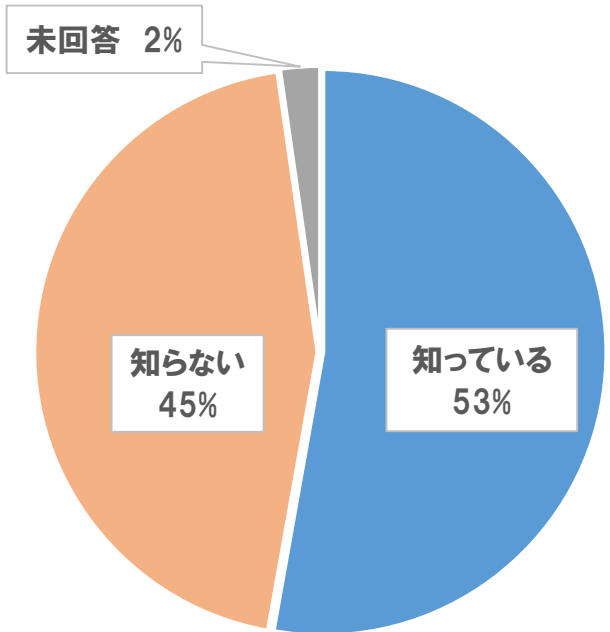


地区別の回答率

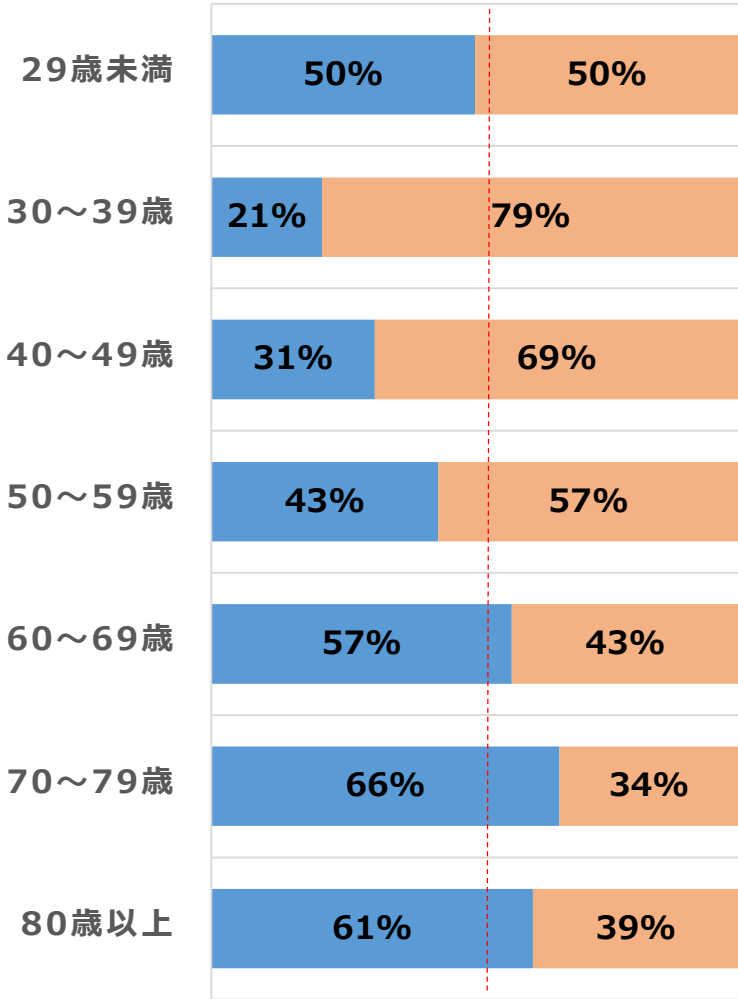


1. 市が策定した「市原子力災害広域避難計画」の認知度

	回答数	率
知っている	697	53%
知らない	593	45%
未回答	30	2%



年代別の認知度



2. 市が指定した避難先へ避難をするか

世帯数ベース

	回答数	率	推計世帯数
する	918世帯	70%	13,534世帯
しない	385世帯	30%	5,800世帯

人口ベース

	人数	率	推計人口
する	2,742人	73%	35,458人
しない	1,003人	27%	13,115人

年代別（世帯数ベース）

29歳未満	56%	44%
30～39歳	61%	39%
40～49歳	69%	31%
50～59歳	69%	31%
60～69歳	71%	28%
70～79歳	74%	26%
80歳以上	68%	32%

地区別（世帯数ベース）

常陸太田	69%	31%
金砂郷	73%	27%
水府	80%	20%
里美	68%	32%

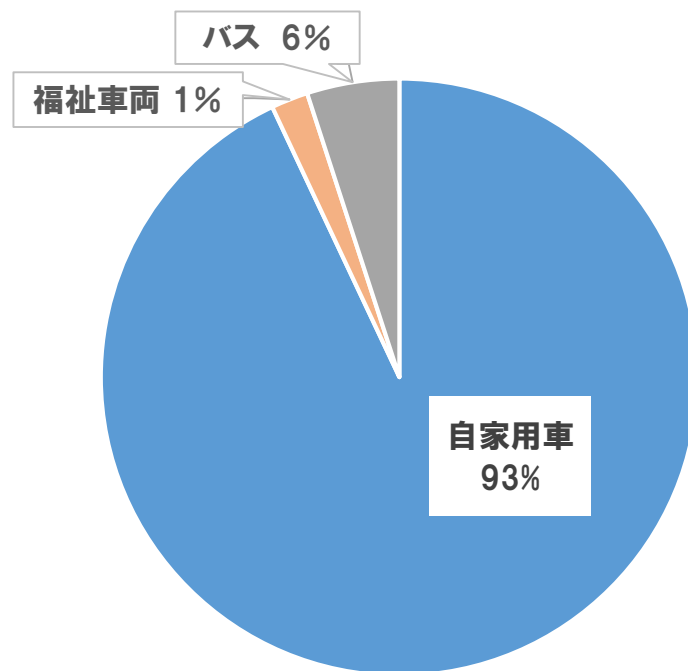
3. 市が指定した避難先へ避難する人の移動手段

種別	回答人数	率
自家用車	2,396人	93%
福祉車両	34人	1%
バス	143人	6%



(有効回答数 2,573人)

種別	推計人数	推計台数
自家用車	32,976人	15,338台
福祉車両	355人	※
バス (40人乗車と仮定)	2,127人	53台

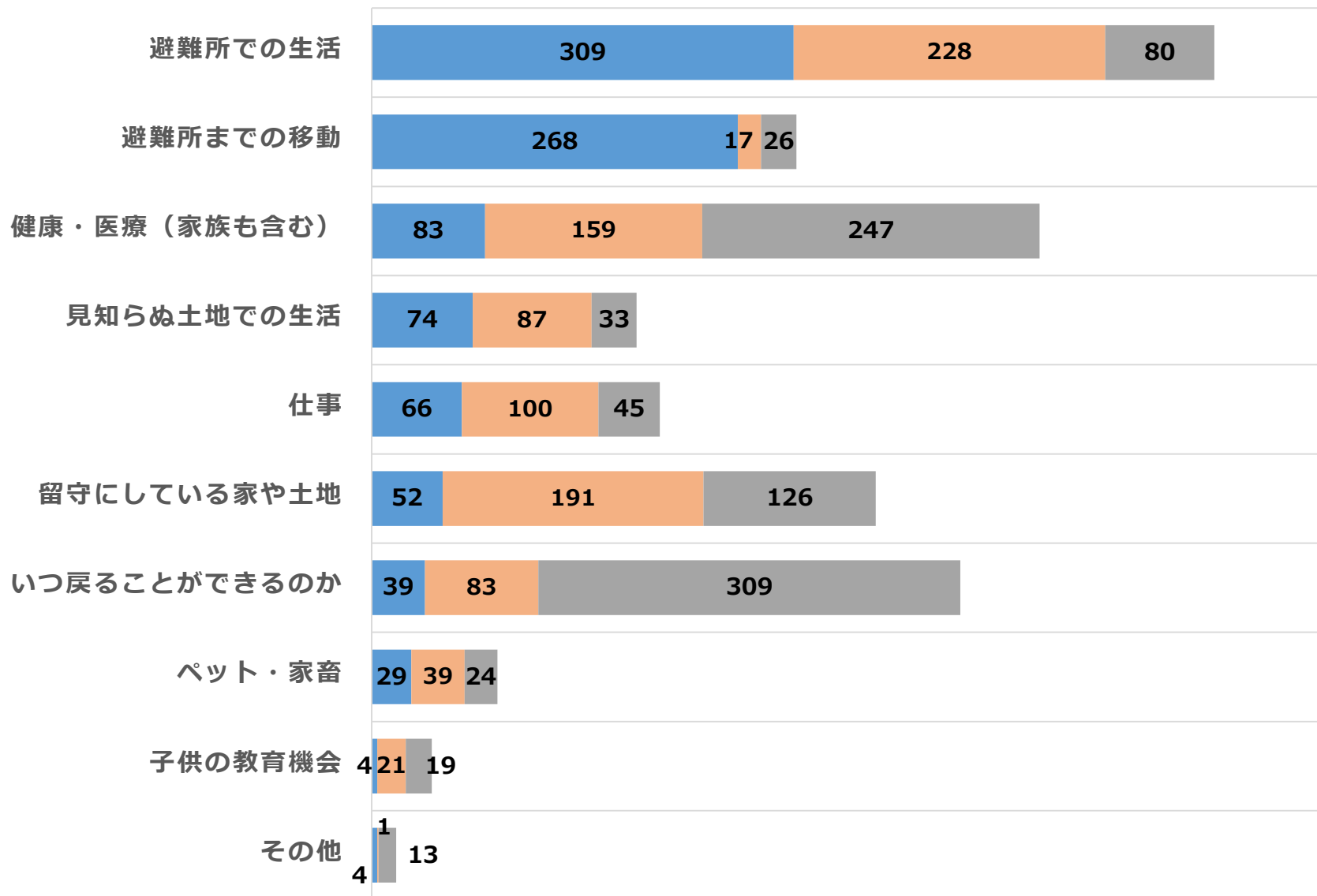


※【福祉車両】

種別	回答人数	推計利用人数
車いす対応の福祉車両	20人	209人
ストレッチャー対応の福祉車両	1人	11人
医療的ケアが必要	7人	71人
その他	6人	64人

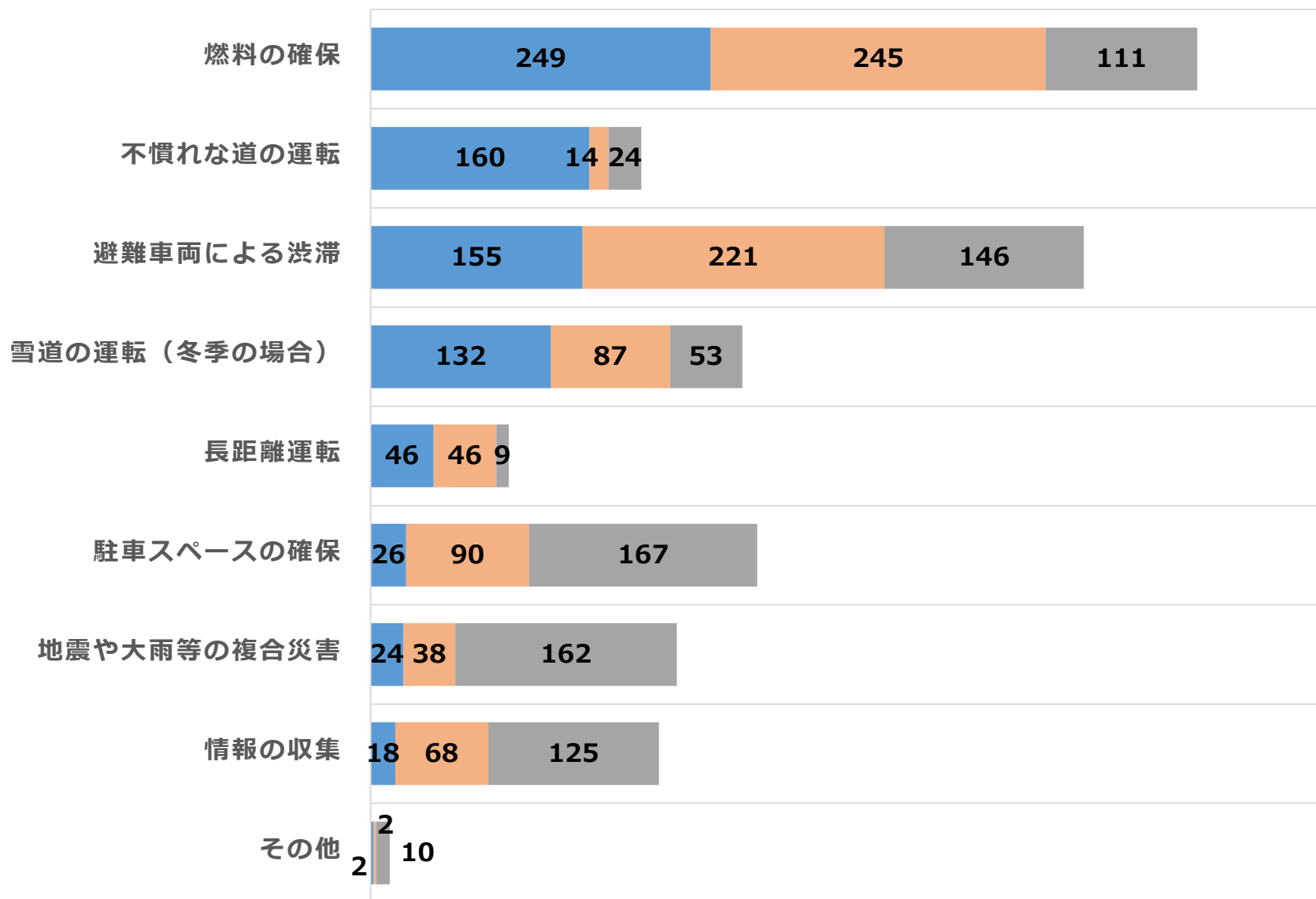
4. 避難するにあたって不安なこと

■ 1番目 ■ 2番目 ■ 3番目



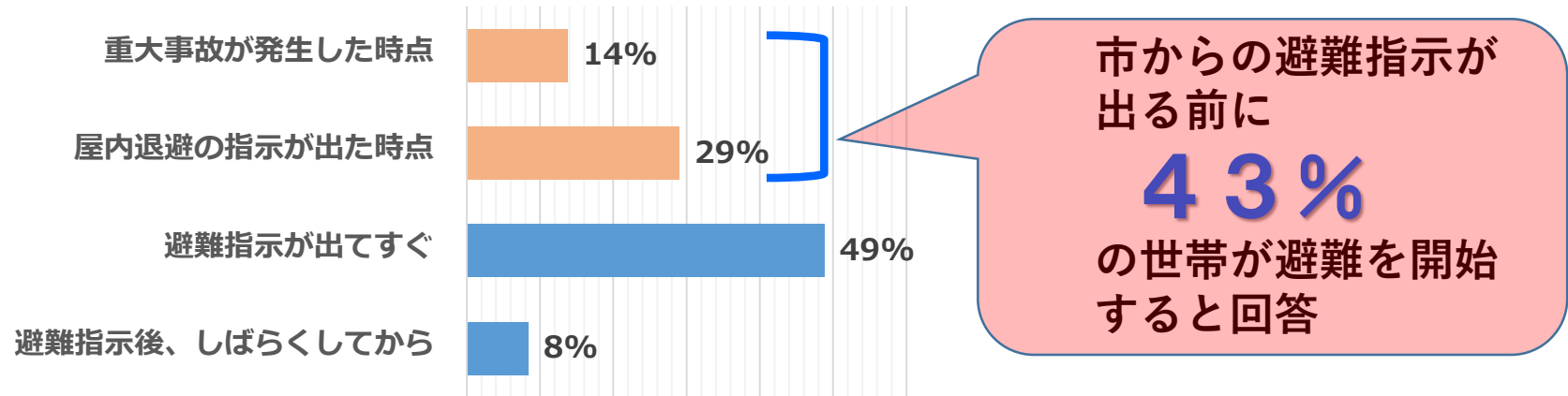
5. 自家用車で避難するにあたって不安なこと

■ 1番目 ■ 2番目 ■ 3番目

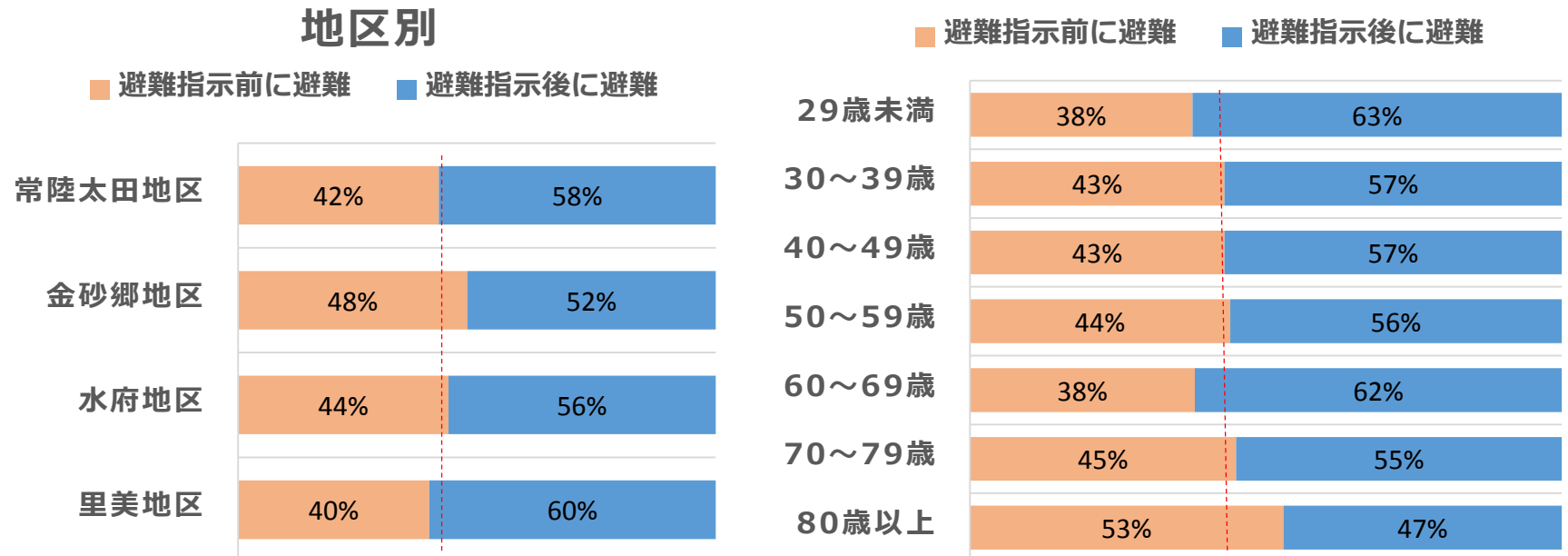


6. どの段階で避難をしたいと考えているか

（対象：市が指定した避難先へ自家用車で避難する世帯）



年代別



7. 市が指定した避難所へ避難しない場合の避難先

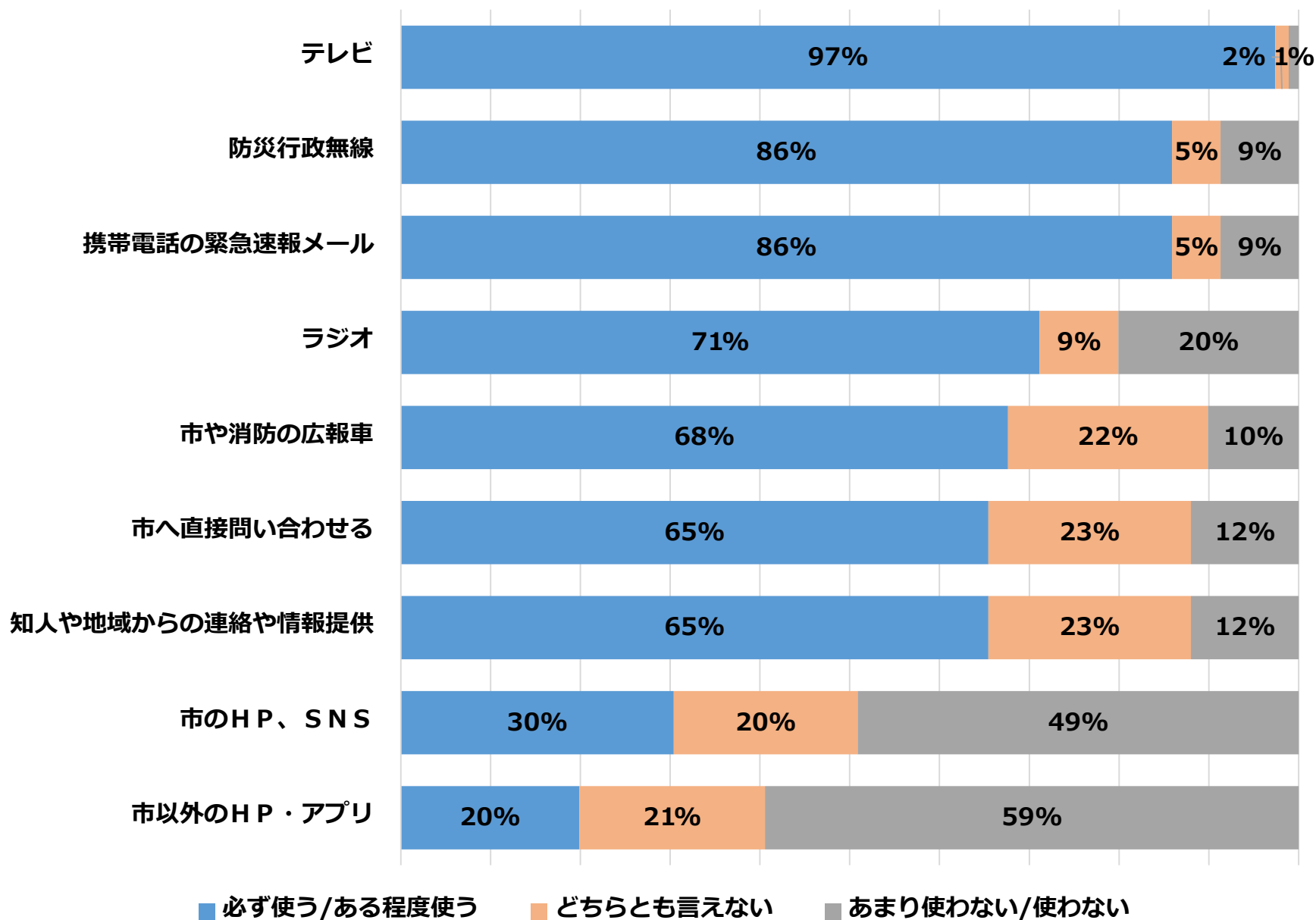
想定避難先	回答数		推計世帯数・率	推計人数・率
親戚・親族の家	194		3,190世帯 16.5%	7,213人 14.8%
友人・知人の家	9		174世帯 0.9%	393人 0.8%
市外	5		58世帯 0.3%	131人 0.3%
県外	22		348世帯 1.8%	787人 1.6%
宿泊施設	26		406世帯 2.1%	918人 1.9%
避難しない	40		638世帯 3.3%	1,443人 3.0%
未定	41		696世帯 3.6%	1,574人 3.2%
市内の施設	16		290世帯 1.5%	656人 1.4%

有効回答数 353件

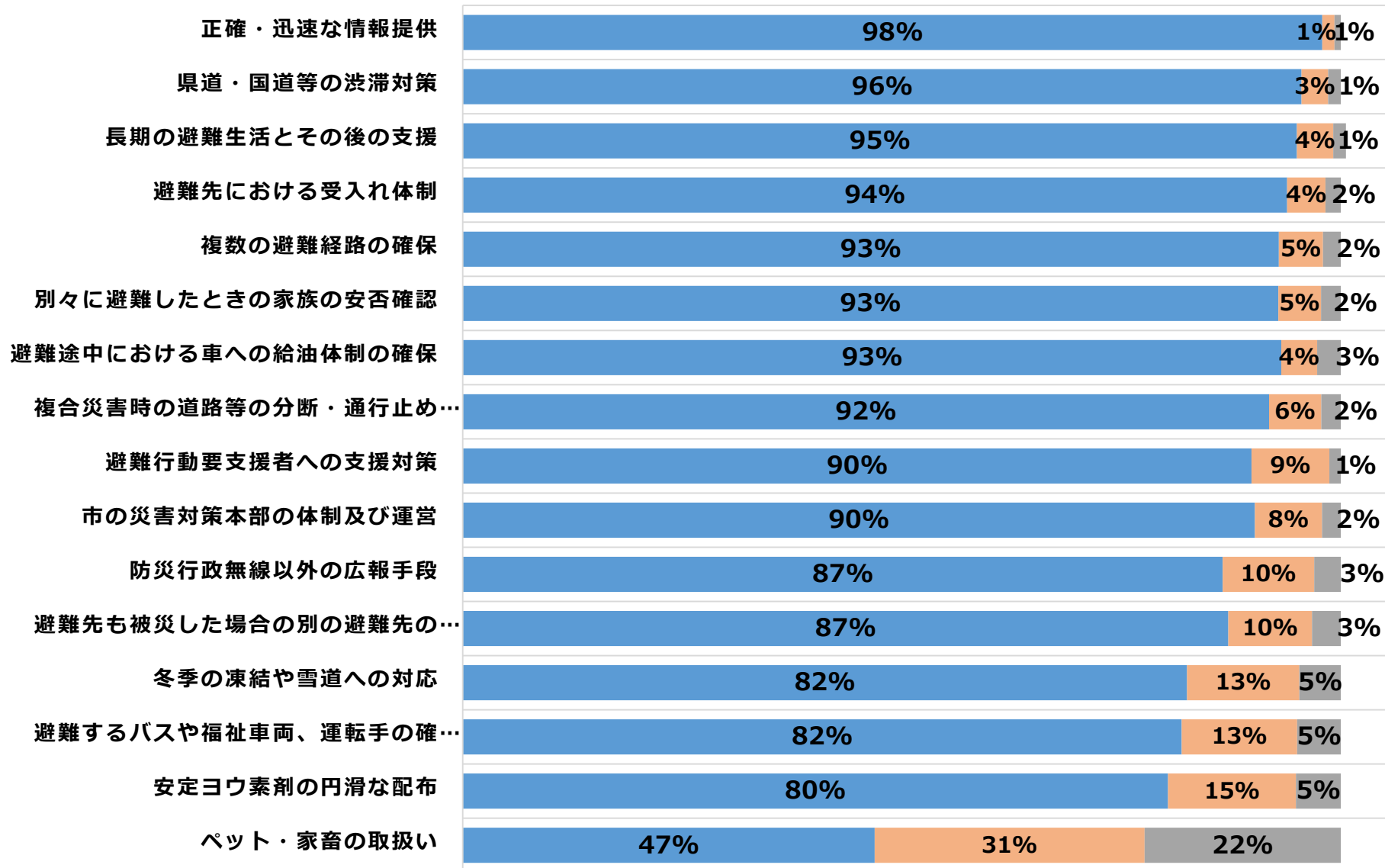
指定された避難先に避難しない主な理由

- ・ 指定された避難先が遠い
- ・ 実家や子供の家などの親類・知人の家に避難できる
- ・ 避難所での生活が不安である
(プライバシー・ストレス・集団生活等)
- ・ 原発がある福島県には避難したくない
- ・ 見知らぬ土地での生活が不安
- ・ ペットがいるから
- ・ 病気や高齢で遠距離の移動が困難
- ・ 事故が起きたらすぐに避難をしたい
- ・ もっと遠くに避難したい
- ・ 避難先の安全が確保できるか不明

8. 災害時の情報収集手段



9. 広域避難にあたっての課題



■ 重要/ある程度重要

■ どちらとも言えない

■ あまり重要ではない/重要ではない

10. 自由記述(主なもの)

避難に対しての不安 (156件)	渋滞の懸念、給油所、高齢の避難方法、 避難所の収容人数と駐車台数、冬季の積雪路、 マニュアルどおりの避難ができるのか
避難先について (16件)	県内や栃木県に避難できないのか なぜ原発のある福島県が避難先なのか
情報について (57件)	正確で迅速な情報提供を要望 防災無線が聞こえない・聞き取りにくい 町会未加入者の情報収集手段
訓練や説明会開催の要望 (18件)	意識を高めるためには訓練が必要 町内毎に住民マニュアル説明会の開催
具体的な提案 (18件)	マニュアルを見なくとも理解できる看板整備 シェルターをつくってほしい
再稼働に反対・原子力発電 は不要 (92件)	廃炉にすれば避難の必要がなくなる 原子力に頼らず自然エネルギーに転嫁すべき
その他 (90件)	災害を起こさない取り組みが必要 万一を想定し家族で話し合いを持つことが大切

(有効回答数 447件)